

13 「コスト削減奨励制度 -改革は現場から-」の成果

平成19年度予算の執行段階におけるコスト削減の取組みとして、21件、1億9,931万円の節減につながる提案がありました。

11月に実施した平成20年度予算編成「主要課題調整」の場で各局から説明を受け、全ての提案に何らかのコスト削減につながる創意工夫及び市民サービスの向上に向けた取組みが認められました。

よって、平成20年度予算編成において、総額で5,190万円の財源を配分し、各現場の担当組織、職員の判断で市民サービス向上のために活用することとしました。

局別一覧

(単位:千円)

局	件数	削減額	配分額
合計	21	199,318	51,900
総務局	1	1,746	873
財政局	2	47,049	2,664
市民局	2	5,273	2,472
環境局	1	83,913	19,950
経済局	3	1,382	655
建設局	4	24,922	12,084
港湾局	3	12,405	3,618
消防局	1	46	23
水道局	2	16,192	6,909
交通局	2	6,390	2,652

平成19年度の取組みのため、配分額についても旧組織名称で表示しています。

【取組みの主なもの】

(単位:千円)

所管局	平成19年度予算執行段階における創意工夫 -コスト削減の取組み-		節減額
	内 容		
財政局	システム改修委託内容の見直し	地方債制度の改変に対応するための、市債管理システムの改修委託業務について、改変に対応したパッケージソフトを活用することにより、改修費の節減を図ると同時に競争入札による委託費用の低減を図った。	46,161
市民局	事業執行方法の見直し	新入学児童に配布するランドセルカバーについて、「交通安全パートナー」として企業の協賛を募り、カバーの製作費の削減を図った。	993
環境局	契約方法の見直し	ごみ処理センターの電気契約方法について、電気事業法の改正を受け、これまでの随意契約から一般競争入札とすることにより、電力基本料金を削減した。	83,913

制度の概要

行財政改革の推進に向けた組織や職員の意識改革と効率的な予算執行を図るために、予算執行段階で、事務執行上の工夫や新たな財源確保により節減できた一般財源の原則1/2の額を、翌年度に節減を実施した担当組織等の判断で使えることとする制度です。

提案の採否については、現場の担当職員等の取組みを重視して、金額の多寡よりも前例踏襲ではない見直しの姿勢を評価することとしています。